

平成 28 年度  
地域の“まちづくりびと”養成講座  
(入門編)

第3回

『まちを歩こう』

## まちのスキの育て方

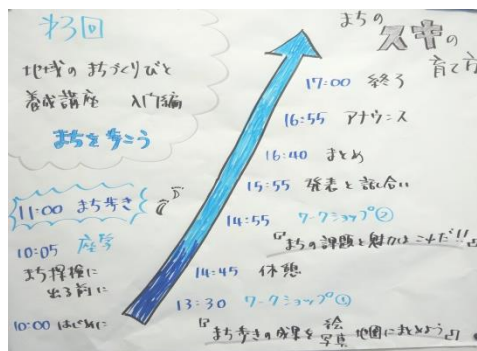
創造的都市まちづくりを考えよう

日時：平成 28 年 7 月 31 日 (日)  
時間：10 時 00 分～17 時 00 分  
場所：名古屋市短歌会館



中区錦二丁目にある名古屋市短歌会館にて、「平成 28 年度地域の“まちづくりびと”養成講座(入門編)」の第 3 回講座を開催しました。

この講座は、講師の名畑恵さん、名古屋都市センターの養成講座修了生である「まちづくりびと」、中区役所、都市センターを実行委員として講座の企画・運営を行っています。



第 3 回講座のタイムテーブル

### ふりかえりと今回のねらい

第 2 回講座では、錦二丁目でのまちづくりのプロセスを事例に挙げ、全員が主体的に議論を進めていくファシリテーション技法を学んだことをふりかえりました。

今回の講座は、まちの課題を発見したり、良い所を見つけて伸ばすという視点でまちを歩き、その後、グループで意見をまとめて次回以降の講座につなげるワークショップを行うことが伝えられました。



会場の様子

### 座学「錦二丁目について」

錦二丁目でもちづくり活動を行っている“まちづくり長者”とその活動について紹介がありました。

#### 滝 一之 さん (下長者町町内会会長)

滝さんは、錦二丁目で行われている社会実験「都市の木質化プロジェクト」のほか、最近ではあいちトリエンナーレの会場となる地区の清掃を 100 人以上で行うなど、錦二丁目のまちづくりの中心となって活動を行っています。

滝さんからは都市の木質化プロジェクトについて「都市を守るために間伐材を用いていくことと様々な応援者の皆さんに思いを伝えることだけやってきた。それも気づきがあったからやれている。」と話されました。



### 船橋 浩三 さん（錦二丁目まちづくり協議会）

船橋さんは、「都市の木質化プロジェクト」のリーダーを滝さんから引継ぎ、歩道を拡幅するためのウッドデッキや、ビル沿いに置かれた長い木のベンチなどを制作されました。

船橋さんからは「まちづくりには人との共感が重要であり、また様々な規制にはローカルルールを地域でつくりあげ、それを認めてもらう取組みが必要」と話されました。



### 渡邊 真理 さん（名古屋大学大学院）

渡邊さんは、大学で都市計画の公共空間を研究され、研究内容を錦二丁目にフィードバックする活動を行っています。

渡邊さんからは、海外の事例として、歩道の一部をオープンカフェやバー、車道の一部を歩行者が休憩スペースなどで利用できる「パークレット」の紹介がありました。



### 浅井 雅弘 さん（アーティスト）

浅井さんは、錦二丁目のトランジットビルにアトリエ「AMR」を構えて、写真を用いたアート活動を行うと共に、錦二丁目のまちづくりにも関わっています。

浅井さんからは、現在関わっているプロジェクトのひとつで、木でギャラリーをつくり、まちにアートを展開していく「アート木質化」の紹介がありました。



### 藤森 幹人 さん（対話計画㈱代表取締役）

藤森さんは、都市計画コンサルタント業などに携わり、錦二丁目に事務所を構えたことをキッカケに様々なまちづくり活動に関わっています。

藤森さんからはまちづくりの進め方について「最初はまちに関わる様々な人がすれ違っていた。そのすれ違いを繋いでいくことがまちづくりではないか」と話されました。



## まち歩き

受講生には、まちの宝や課題、地域の人々へのインタビューを書き込むための「まち探検手帳」が配布され、第2回のワークショップ「まち歩き企画をつくってみよう」で決めたエリアやルートで、グループごとにまち歩きを行いました。

昼食を挟んで約2時間半に渡って行われたまち歩きでは、実際に歩いてみて得た気づきや地域の人々へのインタビューなどを通して、様々なまちの魅力や課題を発見しました。





## ■ ワークショップ①「まち歩きの結果を絵地図にまとめよう」

ワークショップ①は、グループごとにまち歩きを振り返り、「進行」「記録」「時間」の役割を分担して成果を絵地図にまとめるワークショップを行いました。

模造紙に歩いたルートを入力し、記入した「まち探検手帳」を参考に付箋紙にそれぞれの発見を書き出しました。付箋は、歩いたルートの順番で発表し、撮影した写真を貼って絵地図を完成させていきました。



ワークショップで作成した絵地図

## ■ ワークショップ②「長者町の課題と魅力はこれだ！」

ワークショップ②は、①でまとめた絵地図をもとに、まちで発見したことを箇条書きで模造紙にまとめるワークショップを行いました。

作業の中で思いついた意見は、付箋紙に書いてから発表し、最後にまちの課題と魅力を表すキャッチフレーズをタイトルにして模造紙を完成させました。



ワークショップの様子

## ■ 発表（全体共有）

ワークショップの成果をグループごとに発表しました。

### 「原石」ハンターズが行く！

#### 【タイトル】

人を呼ぶまち。ひとを育てるまち。

#### 【まちの宝や魅力】

リノベーションされた建物が多い／古い雰囲気／アート展示が多い／会所の存在 など

#### 【まちの課題や問題】

アート、リノベの面白い拠点や会所のことが知られていない／住民が買物する場所 など

#### 【まちへの提案】

体験ツアー／SNSのなど利用／つながる場所を年中つくる など



ワークショップ①成果 ワークショップ②成果

### のんびりさんぽ

#### 【タイトル】

和く輪く緑化 -緑と人との共生-

#### 【まちの宝や魅力】

まちにゴミが少ない／人が優しい／地域のつながりがある／オシャレな空間 など

#### 【まちの課題や問題】

緑の管理／日陰が少ない／防災 など

#### 【まちへの提案】

小道づくり、街中のせせらぎ／ベンチマップの宣伝／地図／食べ歩きフード販売 など



ワークショップ①成果 ワークショップ②成果

## スキマスイッチャー

### 【タイトル】

長者町まるごとキャンパス作戦！

### 【まちの宝や魅力】

古いビルもアート関係に活用されている／道・歩道が広い／シャッターアート など

### 【まちの課題や問題】

コインパーキングが空いている、人が少ない、週末に空いている店が少ない など

### 【まちへの提案】

ウッドデッキに電源とWiFiを設置／歩道が広い所に並木で緑と日陰をつくる など



ワークショップ①成果 ワorkshop②成果

## Re:MAN' S X Shock

### 【タイトル】

スキ♡スキ♡スキ♡スキ♡長者町♡

### 【まちの宝や魅力】

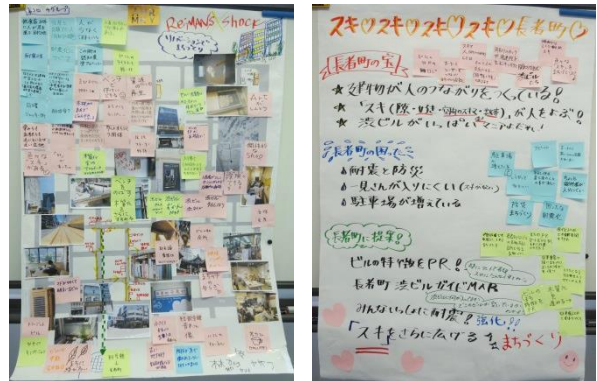
個性的なビル・店舗・渋ビル／立体長屋／ビルの中の会所／／まちに緑が多い など

### 【まちの課題や問題】

住居と店舗スペース／耐震化／出入口がーか所の建物が多い／バリアフリー など

### 【まちへの提案】

稼ぐリノベーション／渋ビル図鑑マップ／PRで建物へ入りやすく など



ワークショップ①成果 ワorkshop②成果

## くらしの観察隊

### 【タイトル】

集まろう！土日も長者町

### 【まちの宝や魅力】

おしゃれ、若い人受けする店舗が多い／道路が広い／日陰が多い／ごちゃごちゃ感 など

### 【まちの課題や問題】

住人が見えない、民家が少ない／道路が広すぎる／夜の治安が不安 など

### 【まちへの提案】

軽トラを使った朝市、カスタム車の展示会／三輪車レース／チョークアートコンテスト など



ワークショップ①成果 ワorkshop②成果



発表の様子



## ■ まとめ

講師による講座の振り返りがキーワード形式で行われました。

- す すき間（空間・時間・仲間）スイッチャーになろう！  
駐車を〇〇に〇〇／日曜日の道はホコ天の芽ばえ
- き 木を使い緑をまとうと森にも人にもやさしい街に／ベンチ、打ち水、壁面緑化
- ま 間を使いこなす知恵を出そう！／問屋ビルの導線の工夫や耐震
- に 人気はアート、秘密基地、渋ビルのわくわく感
- ぶん 分断ではなくごちゃごちゃ感、立体長屋的魅力
- か 会所など歴史の魅力を次世代へ、ここは城下町
- の のんびり街に住むライフスタイルを提起しよう！／子どもを街で育てよう
- め 目をひく発想転換を！
- ぶ 部分から社会を変える、ローカルルールの発想で
- き 気づきは遊びところの中に

また、キーワードの頭文字をつなげて読む頭韻要約法を用い、「すき間に文化の芽吹き」とまとめました。

最後に、次回講座の案内、アンケートの記入を行い、全員で会場の片づけをして第3回の講座を終了しました。

